

栃木県なかがわ水遊園 (公益財団法人栃木県農業振興公社)



【ひとことPR】

関東屈指の清流、そしてふるさとの川「那珂川」の清掃活動を通して、自然を愛する心や清流を守ることの大切さを実感して欲しい。

10年、100年先もきれいな那珂川を守ろう！

【団体の紹介】

(団体名) 栃木県なかがわ水遊園(公益財団法人栃木県農業振興公社)

(代表者名) 園長 鈴木 正光

(活動地域) 大田原市佐良土周辺

(活動内容) ・アユの放流会&みんなの那珂川プロジェクト ※毎年 春 実施
・みんなの那珂川プロジェクト(那珂川清掃活動) ※毎年 春・秋 実施

(活動対象) 河川敷(那珂川)

(活動頻度) 年1回以上

(活動人数) 約200名

(一般参加) 可(ホームページよりお申込み下さい・当日参加も受付けています)

(問合せ先) TEL 0287-98-3055 e-mail info@tnap.or.jp URL <http://tnap.jp>

栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト



「アユの放流会&みんなの那珂川プロジェクト」

【活動報告】

(活動日) 令和8年4月26日(日) 10:30~12:00

(活動人数) 200名(4団体 運営13名+一般参加者187名)

※栃木県漁業協同組合連合会、栃木県水産試験場、

明治安田生命保険相互会社矢板営業所、栃木県なかがわ水遊園、一般参加者



(拾った量) 可燃ごみ 45L×8袋、不燃ごみ 45L×4袋

(活動詳細)

なかがわ水遊園のイベントとして「アユの放流会&みんなの那珂川プロジェクト」を開催した。当プロジェクトでは、那珂川河川敷で30分間ごみ拾いを実施した。

参加者をHP(事前)・当日に募集し、事前85名・当日102名の計187名参加いただいた。

また、海ごみゼロウィーク2026(日本財団海と日本プロジェクト)の企画として開催し、海ごみについてのレクチャーを行った。

清掃活動後、放流用のアユが入ったバケツを1人1杯配布し、参加者は那珂川へアユの放流を行った。

(実施場所) 栃木県なかがわ水遊園周辺的那珂川河川敷

(参加者の声など)

- ・想像よりもゴミの量が少なく、日頃から綺麗に利用されているのだと感じた。
- ・清掃活動前のレクチャーでは、海ごみ問題について子どもを含む多くの参加者が把握しており、環境への関心の高まりが感じられた。
- ・ごみ拾いだけでなく、河川敷で春の花や生き物を観察し、自然に親しみながら活動を楽しむ様子が見られた。
- ・アユの放流会では、事前レクチャーを踏まえ、川の水をバケツに少しずつ入れて水温を調整し、アユに負担がかからないよう配慮しながら放流する参加者の姿が多く見られた。

(活動の様子)



「第6回みんなの那珂川プロジェクト」

栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト



【活動報告】

(活動日) 令和7年9月21日(日) 10:00～12:00

(活動人数) 131名

※FIGHT11、TOYOTA SOCIAL fes、栃木県水産試験場、栃木県なかがわ水遊園、大田原市、一般参加者他

(拾った量) ・可燃ごみ 30L×7袋、 不燃ごみ 30L×3袋
・その他(資源、危険、アルミ、スチール、ペットボトル)各30L×1

(駆除量) ※アレチウリ：約310kg(45Lごみ袋1枚あたり約5kg×62袋分)

(活動詳細) ・第6回みんなの那珂川プロジェクト(那珂川清掃活動)としてFIGHT11(福島県・茨城県・群馬県・栃木県・山形県鶴岡市の動物園水族館のユニット)や地域の団体等が連携して開催した。
・下野新聞社主催のTOYOTA SOCIAL fes!! Presents ～那珂川クリーンアッププロジェクト～と共催で実施した。
・一般の参加者様にも参加していただいた。
・那珂川とアユについてのレクチャーを開催した。
・特定外来生物「アレチウリ」の駆除活動を清掃活動と合わせて行った。
・清掃活動後、参加者へアユの塩焼きを配布した。
・海ごみゼロウィーク2025(日本財団海と日本プロジェクト)の企画として開催

(実施場所) 栃木県なかがわ水遊園周辺の那珂川河川敷

(参加者の声) ・今回アレチウリを知って、身近にもあることに気が付いた。地域が増えてしまわないようにしたい。
・わざとではなくてもゴミを捨ててしまうことがあるため、気を付けたい。
・アユが秋で死んでしまうことを初めて知った。来年もおいしいアユが育ってほしい。

(活動の様子)



(交流の様子)

栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト



Plastics
Smart



「アユの放流会&那珂川クリーンアップ大作戦」

【活動報告】

(活動日) 令和7年4月27日(日) 10:00~12:00

(活動人数) 196名 (※運営10名、一般参加者186名)

※栃木県漁業協同組合連合会、栃木県水産試験場、
明治安田生命保険相互会社矢板営業所、栃木県なかがわ水遊園

(拾った量) ・可燃ごみ 45L×3袋
・不燃ごみ 45L×3袋 合計 6袋

(活動詳細) ・なかがわ水遊園のイベントとして、
「アユの放流会&クリーンアップ大作戦」を開催した。
・参加者をHP(事前)・当日に募集し、事前90名・当日96名 計186名
参加いただいた。
・クリーンアップ大作戦では、那珂川河川敷で30分間ごみ拾いを実施した。
・海ごみゼロウィーク2024(日本財団海と日本プロジェクト)の企画として
開催し、海ごみについてのレクチャーを行った。
・清掃活動を発信するアプリ「ピリカ」の紹介を掲示した。今回ピリカ使用
者の参加はなかったが、会場でQRコードを読み込んでいる参加者は確認
された。
・清掃活動後、放流用のアユが入ったバケツを1人1杯配布し、参加者は那
珂川へアユの放流を行った。

(実施場所) 栃木県なかがわ水遊園周辺の那珂川河川敷

(参加者の声) ・那珂川河川敷の上流方向、下流方向の二手に分かれて清掃活動を行ったこ
とで、ほとんどの参加者がごみを見つけて拾うことができていた。
・3世代で参加し、海ごみの多くは川から海へ流れ出たごみであることや、
生き物たちにプラスチックの影響があることを大人の方々が小さな子供た
ちに教えている様子が見られた。
・ごみ拾いだけでなく河川敷で春の花や生き物を観察して楽しんでいる様子
も見られた。
・放流前のアユの解説では、アユが1年で死んでしまうことを初めて知る参
加者も多く見られた。

栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト





【活動報告】

(活動日) 令和6(2024)年10月5日(土)

(活動人数) 16団体123名

(拾った量) 川会場 可燃ごみ：30kg 不燃ごみ：10kg

アレチウリ：1170kg(1袋あたり15kg×78袋分)

【活動詳細】

- ・第4回みんなの那珂川プロジェクト(那珂川清掃活動)としてFIGHT10(ファイトテン(福島県・茨城県・群馬県・栃木県の動物園水族館のユニット))や地域の団体等が連携して開催した。
- ・下野新聞社主催のTOYOTA SOCIAL fes!!Presents～那珂川クリーンアッププロジェクト～と共催で実施した。
- ・一般の参加者様にも参加していただいた。
- ・那珂川とアユについてのレクチャーを開催した。
- ・特定外来生物「アレチウリ」の駆除活動を清掃活動と合わせて行った。
- ・清掃活動後、参加者へアユの塩焼きを配布した。
- ・海ごみゼロウィーク 2024(日本財団海と日本プロジェクト)の企画として開催

【参加団体及び開催場所、開催日程】

川会場：栃木県なかがわ水遊園周辺の那珂川河川敷

10月5日10:00～12:00

下野新聞社、栃木トヨタ、栃木トヨペット、トヨタカラー栃木、ネットヨタ栃木、電通、白鷗大学、那珂川あゆ街道推進協議会(栃木県那須農業振興事務所、大田原市(農政課)、大田原市観光協会、那珂川町商工会、那珂川北部漁業協同組合、栃木県立馬頭高校、栃木県水産試験場)、宇都宮動物園、栃木県なかがわ水遊園、一般参加者 計123名

栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト



Plastics
Smart

- 【参加者の声】・増水した時の物を流す力が想像以上に感じられたため、清掃活動のやりがいがあった。
- ・今回アレチウリを知って、自宅付近にもあることに気が付いた。身近な場所で増えてしまわないようにしたい。
 - ・わざとではなくてもゴミを捨ててしまうことがあるため、気を付けたい。
 - ・日頃から気を付けていきたいと思った。
 - ・今後もこのような活動を続けていきたい。
 - ・アユが1年で死んでしまうことを初めて知った。来年もおいしいアユが育ってほしい。



栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト



Plastics
Smart

【活動報告】

(活動日) 令和6(2024)年5月25日(土)
令和6(2024)年5月26日(日)
令和6(2024)年6月1日(土)

(活動人数) 10団体83名

(拾った量) 山会場 可燃ごみ：1袋(45L)、不燃ごみ：2袋(45L)

川会場 可燃ごみ：1袋(45L)、不燃ごみ：1袋(5L)

その他：オオキンケイギク：1800株駆除

海会場 可燃ごみ：29袋(45L)、不燃ごみ：11袋(45L)

その他：大型プラスチック製のカゴ・網等

【活動詳細】

- ・第3回みんなの那珂川プロジェクト(那珂川清掃活動)としてFIGHT10(ファイトテン)(福島県・茨城県・群馬県・栃木県の動物園水族館のユニット)や地域の団体等が連携して那珂川流域3会場(山会場・川会場・海会場)で開催した。
- ・一般の参加者様にも参加していただいた。(川会場・海会場)
- ・飼育員によるSDGsのレクチャーを開催した。(海会場)
- ・特定外来生物「オオキンケイギク」の駆除活動を清掃活動と合わせて行った。(川会場)
- ・海洋ごみ問題の周知啓発についてのガイドを行った。
- ・海ごみゼロウィーク2024(日本財団海と日本プロジェクト)の企画として開催(全会場)
- ・栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言(栃木県環境森林部資源循環推進課の企画)の、「For me 530 project」のPRを行った。

【参加団体及び開催場所・開催時間】

山会場：八幡つつじ園地周辺

6月1日 13:00～14:00

那須どうぶつ王国、那須サファリパーク、群馬サファリパーク、
那須高原ビジターセンター、栃木県なかがわ水遊園 計10名

川会場：栃木県なかがわ水遊園周辺の那珂川河川敷

5月25日 13:00～14:00

宇都宮動物園、那須農業振興事務所、カルビー(株)清原工場有志、
栃木県なかがわ水遊園、一般参加者 計43名

海会場：アクアワールド茨城県大洗水族館周辺の那珂川河口

5月26日 13:00～14:30

アクアワールド茨城県大洗水族館、ボランティアスタッフ、
日立市かみね動物園、栃木県なかがわ水遊園、一般参加者 計30名

栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト



(参加者の声)

- ・様々な場所で開催していて、協力し合っている感じがよかった。
- ・意外とゴミが少なかった。このまま少なくなっていきたい。
- ・わざとではなくてもゴミを捨ててしまうことがあるため、気を付けたい。
- ・日頃から気を付けていきたいと思った。
- ・今後もこのような活動を続けていきたい。



栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト



Plastics
Smart

【活動報告】

(活動日) 令和5(2023)年5月28日(日)

(活動人数) 14団体90名

(拾った量) 山会場 可燃ごみ：1袋(45L)、ビン・カン：1袋(45L)

その他：不燃ごみ1袋(45L)

川会場 可燃ごみ：2袋(45L)、ビン・カン：1袋(5L)

その他：廃タイヤ×1、オオキンケイギク：2424株駆除

海会場 可燃ごみ：12袋(45L)、ビン・カン：3袋(45L)

その他：廃タイヤ×1、魚網

- 【活動詳細】
- ・第2回みんなの那珂川プロジェクト(那珂川清掃活動)としてFIGHT10(ファイトテン)(福島県・茨城県・群馬県・栃木県の動物園水族館のユニット)や地域の団体等が連携して那珂川流域3会場(山会場、川会場、海会場)で同日開催した。
 - ・今回は一般の参加者にも参加していただいた。(川会場・海会場)
 - ・飼育員によるSDGsのレクチャーを開催した。(海会場)
 - ・特定外来生物「オオキンケイギク」の駆除活動を清掃活動と合わせて行った。(川会場)

【参加団体及び開催場所・開催時間】

山会場：八幡つつじ園地周辺 13:00～14:00

那須サファリパーク、那須どうぶつ王国、群馬サファリパーク、
宇都宮動物園、那須高原ビジターセンター、栃木県なかがわ水遊園

川会場：栃木県なかがわ水遊園周辺の那珂川河川敷 10:00～11:00

宇都宮動物園、那須農業振興事務所、光丸山法輪寺、那珂川水と桜と
学びの道保存会、カルビー(株)清原工場有志、那須らいず、栃木県な
かがわ水遊園、一般参加者

海会場：アクアワールド茨城県大洗水族館周辺の那珂川河口 13:00～14:30

アクアワールド茨城県大洗水族館、日立市かみね動物園、茨城県生活
文化課、ボランティア、一般参加者

(参加者の声)

- ・様々な場所で開催していて、協力し合っている感じがよかった。
- ・意外とゴミが多くてビックリした。
- ・自然環境の改善に貢献できたと感じた。
- ・日頃から気を付けていきたいと思った
- ・今後もこのような活動を続けていきたい。

栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト





▲山会場の様子



▲山会場の様子



▲海会場の様子



▲海会場の様子



▲川会場の様子



▲川会場の様子

栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト



Plastics
Smart